

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容①】 探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践

## ねらい

考えるテーマ、課題を明確にし、思考、検索、編集、まとめ等の自らの学びの時間を確保し、その学びの過程や成果を記録に残す。さらに他者と共有しながら、相互が自らの学びをさらに深めたり、グループの考え等を構築する機会創出をICTの活用を通してねらう。

多様性を理解した関係づくりができる

情報を適切に活用・編集・発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力

授業実践例(3年(総合):三輪野江小学校探検隊～三輪野江小の秘密を見つけよう！～)

【取組内容①】 教科に自らのわかったこと、できたこと、明日への個別最適化の実践

授業実践例(5年(体育):遊び箱運動(縄はね結び)における自分の分析カードを作ろう！)

【取組内容①】 教科に自らのわかったこと、できたこと、明日への個別最適化の実践

授業実践例(5年(体育):遊び箱運動(縄はね結び)における自分の分析カードを作ろう！)

【取組内容①】 教科に自らのわかったこと、できたこと、明日への個別最適化の実践

授業実践例(5年(体育):遊び箱運動(縄はね結び)における自分の分析カードを作ろう！)

【取組内容①】 教科に自らのわかったこと、できたこと、明日への個別最適化の実践



## 成果

従来のノート、プリントだけでなく端末やLMS、インターネットを活用することにより広く、深く自分の課題と向き合うことが可能となった。それをデジタル・ポートフォリオで記録し、他者と共有する場面、それを後日発表するとき子供たちの積極性、自信が増すことも成果といえ、将来に向けた武器となることの気づきを得られたと考える。

## 課題

個々の学びの場面、共有の場面で何をどう記録し、それが自分の学びの足跡として将来役立てるかの見通しが立てづらく、教師の指示による記録、なんでも記録、自分の選択による記録等、方針・目標が不明確な点は次年度に検討していく必要がある。さらに、この実践を子供が支持なく市内各学校で日常的に行える積み重ねのための方策展開が必要。

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容①】 探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践

授業実践例(3年(総合):三輪野江小学校探検隊～三輪野江小の秘密を見つけよう!～)

## 単元の目標

自分の興味・関心を持った事柄に対し、一人一人が探究心を持って活動に取り組み、情報活用能力及び思考力・表現力を身に付ける

## 課題の設定・課題の発見

## 情報の収集

## 情報の整理・分析

## まとめ・提案方法・表現

- ①PBL学習の進め方
- ②今後のプラン作成
- ③課題別に班分け
- ④今後の野江小の謎(?)を巡え!

**児童が身に付ける技能**

- Googleスライドの活用
- classroomの活用
- インターネット検索の方法
- Googleドライブの活用

**学習の流れ**

毎日通う学校の謎について、自分が普段疑問に思っていることなどをGoogleスライドに記入し、蓄積していく。その記録したスライドをもとに自分の考えや今後の活動について整理していく。児童のスライドは教員がクラスルームに提出させることで、いつでも進捗度を確認、共有できるようにしておく。

- ①PCで検索
  - ②学校の資料を探す
  - ③詳しい人へのインタビュー
  - ④写真・動画の撮影
- 児童が身に付ける技能**
- 写真、動画の撮影方法
  - ドキュメントを利用しているインタビュー
  - 原稿作成
  - 得た情報のまとめ方
- 学習の流れ**
- 自分が興味を持った事柄について、学校職員へのインタビューや写真・動画撮影など、取材を通して得た情報を、Googleスライドにまとめていく。今後の情報整理や分析に向け、日付や題名を付けて情報をいつでも引き出せるようにしておく。

## 課題の設定・課題の発見

## 情報の収集

## 情報の整理・分析

## まとめ・提案方法・表現

- ①得た情報の共有
- ②どんな形にまとめるのか相談
- ③どんな内容を入れるのか話し合いを決める
- ④情報の編集作業

**児童が身に付ける技能**

- Googleドライブ内のデータの共有方法
- 写真、動画の編集方法
- Googleスライドのまとめ方
- jamboardを活用した話し合いの仕方

**学習の流れ**

収集した情報をGoogleスライドにまとめ、後の情報発信に向けて自分が説明しやすいように整理、分析を行う。自分がまとめた内容をグループで共有し、意見交換を行い、自分の発表内容の推敲や表現方法の見直しを行う。

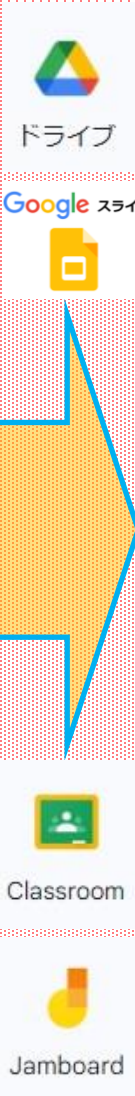
- ①作成した資料を誰に見せるのか相談
  - ②単元の振り返り
  - ③作成した資料を届ける
  - ④どんな方法で資料を届けるのか話し合い
- 児童が身に付ける技能**
- 作成した資料を誰に見せるのか相談をする。
  - どのように資料を公開するか話し合う。
  - 資料に資料を公開する。
  - 単元の振り返りを行う。(振り返りの仕方自分たちで考える)
- 学習の流れ**
- グループで確認し、修正した内容をGoogleサイトにまとめ、発信できるよう準備を行う。自分で編集したGoogleサイトをもとに、地域の方や同中学校区の小学校や中学校と交流を通して情報発信を行う。

## 個別最適な学び

Googleスライドに自分が得た情報を蓄積し、自分のデータをいつでも引き出せるようにすることで、自己調整をしながら学習を進めることができるようにした。

## 協働的な学び

Jamboardを活用し、グループ活動することで友達の意見を瞬時に把握し、自分の学びに活かすことができた。また、Classroomで情報共有をし、学びを広げた。



# リーディングDXスクール事業

## 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容①】 探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践

授業実践例(5年(体育):跳び箱運動(頭はね跳び)における自分の分析カードを作ろう！)

### 単元の目標

自分の技と他者の技を見比べ、コツやポイントを共有しながら、自分が目指す理想の動きに向かい、自己調整を行いながら学びを進めることができるようにする。

### 課題の設定・課題の発見

### 情報の収集

### 情報の整理・分析

### まとめ・提案方法・表現

前時の演技から自分の課題の確認を行う

本時で自分の演技を動画で撮影し、蓄積する

児童が身に付ける技能

- ・Googleスライドの活用
- ・三輪野江小オリジナルアプリの活用
- ・Googleドライブの活用

学習の流れ



児童が身に付ける技能

- ・カメラ、動画のファイル保存
- ・Googleドライブへのデータ移行方法
- ・音声入力機能の活用
- ・スロー再生機能の活用

学習の流れ



はじめに、教師から目指す動きの動画や写真を提示し、目指すゴール像をイメージさせる。試しの運動で記録した自分の姿と目指すゴール像を比較し、現状の自分の課題を発見し、活動するめあてを決める。自分の活動のめあてをGoogleスライドにメモしておき、感じたことや見つけたコツなどを書き込めるようにしておく。自分の演技は三輪野江小オリジナルアプリを使用し、いつでも理想の動きと自分の動きを見比べられるようにしておく。

ペア活動やグループ活動を通し、パートナーやチームメイト同士で演技を撮影し、客観的に動きを確認することで、児童自身の課題を明確化し、自己調整につなげる素地づくりを行う。撮影した映像は、デジタルポートフォリオとして学習カードにはりつけ、その日の振り返りに使用したり、前時の振り返りの際にいつでも見返せるようにしておくことで、課題意識をもてるようになる。

### 課題の設定・課題の発見

### 情報の収集

### 情報の整理・分析

### まとめ・提案方法・表現

自分の演技を動画や写真で分析を行い、次時に生かす

どんな風に表現するのかそれぞれの児童が決める

児童が身に付ける技能

- ・キャプチャ機能の活用
- ・技能ポイントカードへの接続方法と共有方法
- ・Googleスライドの情報のまとめ方

学習の流れ



児童が身に付ける技能

- ・写真、動画の編集方法
- ・振り返りのためのスプレッドシートの活用
- ・Googleドライブへのデータ移行と保存方法

学習の流れ



自分の演技を蓄積し、いつでも見返せるようにしておくことで、授業での活動中や授業時間外でも自分の課題を振り返ることができ、次時の授業の課題意識の明確化を図る。また、Googleスライドに自分が感じたことや見つけたコツをメモ書きとして残した内容を学級内で共有することで、技のポイントやコツについて共通認識することができるようにする。

自分や友達の演技を改善・修正していく中で見つけたポイントやコツを活かし、単元終盤で他者に対し表現していく。技の組み合わせ方や構成など、今の自分ができる技を使って美しい表現ができるよう、自己調整を行いながら、演技を行い、その演技の写真や動画を自分なりに解説しながらまとめることで、思考力や判断力の向上を図る。

## 個別最適な学び

自分の試技の映像を蓄積することで、授業の際の即時フィードバックのみならず、学習の振り返りでも客観的に自己評価をすることができ、学びの深まりが見られた。

## 協働的な学び

試技の映像を見ながら話し合いを行うことで、見るべき視点が明確になり、学びの深まりが見られた。また、スプレッドシートに振り返りを記入することで、他者の意見や考えを知ることができ、学びの視点を広げることができた。



# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図るデジタル・シティズンシップ教育の推進」～生成AIを通して～

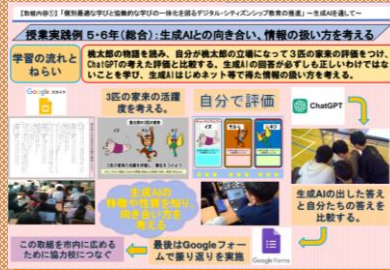
## ねらい

生成AIが発出する情報をそのまま鵜呑みにすることなく、自分や他者の考えを基に吟味し、検討していく姿勢や力を育てることをねらいとする。その際に周知の物語や昨今話題となる性の多様性の問題などを素材にしてICT活用に対するデジタル・シティズンシップを身近なものとしていく。

多様性を理解した関係づくりができる

情報を適切に活用・編集・発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力



学校外の人・もの・コトと積極的に繋がることできる

自分を肯定し主体的に行動できる

## 成果

よく知る物語、昨今耳にする問題などを生成AIと絡ませることにより、子供たちにとって関心や意欲を高めての思考場面が設定できた。また、LMSを有効に活用することで、自分の考えと他者の考えを容易に可視化し、多面的に考える機会の創出ができる効果も実証できた。さらに現実にゲスト等とのつながりから協働的な学びの厚みが増せた。

## 課題

個別最適な学びで個々に学びを深める、協働的に学び合う、それぞれの場面で情報の真偽の見極め、さらに新たに生成AIとの向き合い方等のデジタル・シティズンシップに係る力の育成は喫緊の課題となる。まだ教職員が単体で指導することには不慣れであり、研修等でそのスキルを高めると共に、こうした実践を横展開し、情報、資料の共有化を図っていく必要がある。

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図るデジタル・シティズンシップ教育の推進」～生成AIを通して～

# 授業実践例 5・6年（総合）：生成AIとの向き合い、情報の扱い方を考える

## 学習の流れとねらい

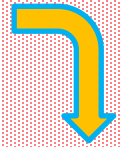
桃太郎の物語を読み、自分が桃太郎の立場になって3匹の家来の評価をつけ、ChatGPTの考えた評価と比較する。生成AIの回答が必ずしも正しいわけではないことを学び、生成AIはじめネット等で得た情報の扱い方を考える。

Google スライド



3匹の家来の活躍度を考える。

自分で評価



桃太郎の3匹の家来

イヌ サル キジ

3匹の家来の活躍を評価し、順位をつけよう

どうしてそういう順位になるかの根拠（理由となる事実）も考え、発表できるように

Monkey-Kami Trading Card

イヌ サル キジ

私が考える活躍（かつやく）の3段階評価（ひょうか）

私が考える活躍（かつやく）の3段階評価（ひょうか）

私が考える活躍（かつやく）の3段階評価（ひょうか）

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★



生成AIの出した答えと自分たちの答えを比較する。

生成AIの特徴や性質を知り、向き合い方を考える



この取組を市内に広めるために協力校につなぐ

最後はGoogleフォームで振り返りを実施



# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

三輪野江小(指定校)の実践から中曽根小学校(協力校)へ

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図るデジタル・シティズンシップ教育の推進」～生成AIを通して～

## 協力校の実践

### 学習の流れとねらい

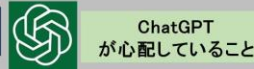
生成AIがつくった、ルールの偏った学校の情報をもとに「男子」「女子」で区別することこの違和感を導入とし、同じく生成AIがつくった架空のトランスジェンダーの女の子キャラクターが、実際に存在したら直面するであろう問題や周囲の反応、どう接したらいいか等の課題を「生成AI」が出した答えと自分やグループの考えと比較する。まとめの部分で、実際にトランスジェンダーの方の話も受け、多様性という視点から自分自身の思いや考えを構築する。

Google スライド



# 単色学園

## 自分で、班で、考えよう①



**葵(あおい)さん**  
 小学校4年生 女子  
 いつも左の腕よりも右のようなかっこうを好み  
 男子が好むような  
 あそびが好き  
 自分のことを「ぼく」と言ったりする

あると思うか・・・  
なぜそう思う・・・

**ChatGPT が心配していること**

ChatGPT: 前回は、あなたの情報から生成された架空の女の子キャラクターの情報を提供しました。以下は、そのキャラクターの性格や行動に関する情報です。これは、あくまで生成された架空のキャラクターであり、実際の人物とは異なります。

- 嫌いな食べ物: **いやがらは、いじめ**
- 好きな食べ物: **なまはすずれ**
- 得意な科目: **いやなことば、あだな**
- 得意なゲーム: **女のくせに、男みたい**
- 得意なスポーツ: **わる口のSNS等かくさん**
- 得意なゲーム: **そんざいをムシ**

## ChatGPTの心配事

# 多様性を考える

今日の授業、織田さんのお話から自分の考え、思ったことをまとめてみよう～

### 協働的な学び

### 個別最適な学び

トランスジェンダーの方からのリアルな話で子供たちの目が変わり、思考の深まりへ

「どのように接するか」子供たちの答えは「普通」に接すること

女の子なのに男の子ぽかったりしても別にその人の個性が出ていいと思うからその人が嫌だと思ふあた名などを勝手につけるのは悪気がなくてもやっちゃいけないことだと思うので相手の気持ちを考えて行きたいです。



# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

## 【取組内容③】児童・生徒の日常的な心の変化を捉える心の健康観察のアプリの活用

### ねらい

児童・生徒の心身の健康状態を把握することは教職員の務めでもあるが、それを多角的に把握できたら教職員の教務のDXともなる。ICTを活用し、教職のプロの目プラスαの実現に取り組む。さらに得られたデータを有効に活用することで不登校の未然防止から一人ひとりが輝ける学校生活の構築を図る。



学校外の  
人・もの・コトと  
積極的に  
繋がること  
ができる

情報を  
適切に  
活用・編集・  
発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力



自分を肯定し  
主体的に  
行動できる

自分や他者の  
心と体を  
大切にできる

### 成果

児童生徒も教職員も日ごろ使い慣れているGoogleフォームを活用し、そのデータを一括に書き出せるシステムは容易に構築、理解、運用が可能であり、朝の会等で簡単に実施できるため負担感も少ない。このデータを定期的に学校が確認し、気になる児童生徒に声がけをしたという事例も増えてきている。また、児童生徒にとっても見てもらえているという安心感にもつながっている。

### 課題

日々の実施からそのチェックは学校（特に児童生徒の多い学校）にとって新たな負担感が増すことも事実。また、チェックしたデータをどう共有し、次の行動に移すかのシステム構築も大切となってくる。そこで、担任に頼り過ぎずどのレベルから、誰に、自動で通知がいくというシステム進化を目指して、専門家の支援を仰ぎながら、さらなる改善を行うことが必要で動き始めている。

【取組内容③】 児童・生徒の日常的な心の変化を捉える心の健康観察のアプリの活用

目標

「すべての子どもたちが輝く」の市の思いを実現するために児童・生徒の心の変化を捉える仕組みをICT活用で構築する。さらにそのデータ活用のシステム化に取り組む。



吉川市においても小・中学校における「不登校」が喫緊の課題である。その対策の一環としてICTを活用していく。

そこで...

普段の子供たちの心の状態を少しでも把握できるようなICT端末を活用し「不登校サイン」やその他「友人関係」や「学校への不安」などを素早くキャッチし、そのデータを共有するツールがあれば、教職員の児童・生徒に対する指導の手助けになるのでは、と考えた。

心の健康観察アプリ



心の健康状態の回答はスプレッドシートで毎日蓄積されていく。

先生に相談が「ある」と答えた児童に対して声かけすることができた。

心の状態を4種類に分けて表示。Googleフォームで投稿したら回答する。登校した回答はスプレッドシートに集計され、心配な回答は色を付けて表示される。また、「先生に伝えたいことがある」欄を設け、記述しなくても心配事を教員に伝えられるようにしている。

2. 今の気分が一番近いものはどれですか？\*  
1つだけマークしてください。

わくわく

まあまあ

いまいち

つらい

いまいち	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ
なし	なし	なし	なし	なし
今は無い	今は無い	今は無い	今は無い	今は無い
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ
なし	その他	その他	その他	その他
今は無い	今は無い	今は無い	今は無い	今は無い

このデータから教職員の声かけにつながる事ができる。さらに教職員への通知機能が望まれる。



## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

## 【取組内容⑤】市教育委員会と連動した、実践内容の地域内外への発信・普及

## ねらい

自分たちの学びの成果を見守る児童生徒、教職員が積極的に発信する機会、技能をICT活用で得ることをめざす。そこには、自分たちの学びを自信をもって披露する自己肯定感や有用感を高めること、積極的発信が学校外と新たな繋がりを生み、学校の協力、支援者ともなり、より学びを深めることに気づけることも含まれる。

学校外の  
人・もの・コトと  
積極的に  
繋がること  
ができる

多様性を  
理解した  
関係づくり  
ができる

情報を  
適切に  
活用・編集・  
発信できる

本取組を通して吉川市が子供たちにつけたい力



自分を肯定し  
主体的に  
行動できる

自分や他者の  
心と体を  
大切にできる

## 成果

学校はICT活用した学びの成果を協力者、地域等へ発信し始めている。その反応、成果から発信することの意義やさらなる技術等の向上を目指す意欲が見て取れる。教育委員会もX、YouTubeチャンネルなど多様なインターネット配信を駆使し、リーディングDXの実践成果や日々の学校実践の発信に努めている。こうした発信が市の教育行政への理解と協力につながる手ごたえを感じ始めている。

## 課題

本市が力を入れているデジタル・シティズンシップ教育はこうした発信の機会にその成果を発揮するものである。発信機会にこうした学びを成果と連携させること、さらにPBL探究的な学びにおいても同じようなテーマ、実践を進めている他市、他地域と積極的にオンライン情報交流の機会の創出など新たな取組を進めたい。また、市独自採用のICT支援員構築のポータルサイトのコンテンツを30に増量していく。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

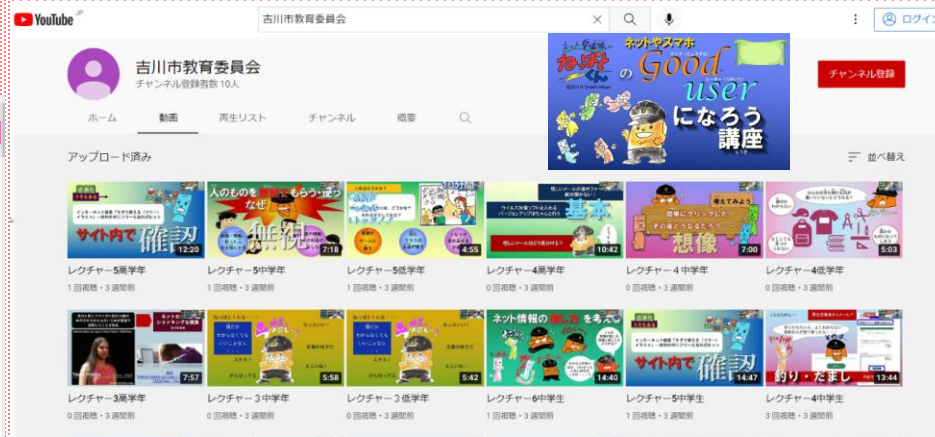
吉川市立三輪野江小学校（埼玉県）

【取組内容⑤】市教育委員会と連動した、実践内容の地域内外への発信・普及

ねらい

吉川市が運営する情報活用サイト、YouTubeチャンネル、SNS(X)にリーディングDXでの取組を紹介すると共に、各学校で実践を意欲的、積極的に発信することの奨励を図る

LDXをはじめとした様々なICT関連の情報を教員に発信



吉川市教委作成YouTubeチャンネルデジタルシティズンシップ動画教材

<https://www.youtube.com/@user-xi3me1rp8y/videos>



リーディングDX校の実践

- ◆ICT活用サイトでできること◆
- ・市内外のICT関連の情報収集
- ・ICT支援員の派遣申請
- ・市のICT担当への質問 等

